



JIC インフォメーション

第 148 号 2008 年 1 月 10 日

年 6 回 1・2・4・6・9・11 月の 10 日発行

1 部 500 円

発行所: JIC 国際親善交流センター 発行責任者: 伏田昌義

<http://www.jic-web.co.jp>

東京オフィス: 〒160-0004 東京都新宿区四谷 2-14-8 YPC ビル 7F

TEL: 03-3355-7294 jictokyo@jic-web.co.jp

大阪オフィス: 〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-1-22 フェアステージ大手前ビル 5F TEL: 06-6944-2315 jicosaka@jic-web.co.jp

ロシア・旧ソ連
国際交流誌

あけましておめでとうございます!!



今年もJICをよろしくお願いいたします



J I C スタッフより新年のご挨拶・・・・・・・・・・2-13P

神戸市外国語大学語劇祭報告 熊谷 真宏・・・・・・・・15P

新刊のご案内『ビジネスロシア語 実践会話・応用編』

J I C 情報・・・・・・・・・・16P

小畠 雅敏 (天理大学)・・・・・・・・14P

JIC では、Jクラブ(JIC 友の会) 会員を募集しています。
年 6 回の情報満載のインフォメーションをお届けします。

JIC スタッフより新年のごあいさつ



С Новым Годом!!

2008



皆さま、あけましておめでとうございます。2008 年も JIC をよろしくお願いいたします。

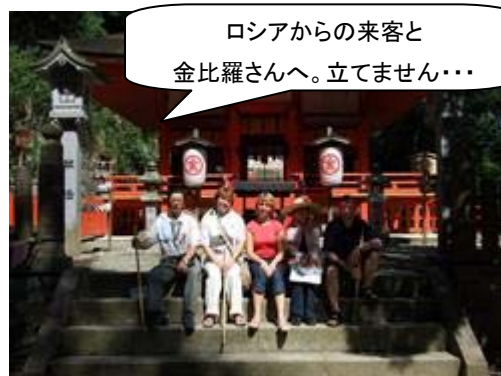
2008 年も全力で走ります！

あけましておめでとうございます。2008 年も JIC 国際親善交流センターとジェーアイシー旅行センター株式会社をよろしくお願いいたします。

年末に東京事務所を四谷 4 丁目から 2 丁目に移転しました。移動した距離は 500m ほどですが、新しい大きなビルに入居しました。これまで 3 つのフロアーに分かれて仕事をしてきたのが、ようやくワンフロアーでお互いに顔を見ながら仕事ができる環境が整いました。

「世界のあらゆる国との交流を通じて平和な世界を作ろう」という目標掲げて国際親善交流センター(JIC)が設立されてから 25 年。JIC は主にロシア・旧ソ連諸国、モンゴル、中国などとの交流活動に力を入れ、ロシア語留学、ロシア語講座、ロシア人向け日本語講座、在日ロシア人との交流イベント、セミナー、視察訪問団の受入などの活動を続けてきました。細々とした活動ではありましたが、隣国ロシアに関心を持ち互いに理解を深めようとする多くの人たちのお手伝いを続けてくることができたと自負しています。

JIC の交流活動から出発してジェーアイシー旅行センター(株)を設立し旅行業に乗り出したことによって、私たちがタッチする日ロの相互往来、相互交流の幅と規模は各段に拡大しました。株式会社の目的はもちろん利益を上げて会社を存続させ、そこで働くスタッフの雇用を守り生活を保証することですが、しかし私たちはそれだけが目的で集まったものではありません。日本とロシア、さらに多くの国々との人と人との交流、文化交流、経済交流を活発化させること、旅行業を通じてそのお手伝いをすることが私たちの目的であり喜びです。「専門旅行社」としてこれまでロシアを知らなかった多くの



ロシアからの来客と
金比羅さんへ。立てません...

人たちの魅力のとりこにして(あるいは日本を

知らなかった多くのロシア人をとりこにして)、日ロ交流に引き込んでいく作業に邁進したいと思います。日ロ交流をしっかりと支え続ける旅行会社、ロシア語学習者やロシア関係者を力強く応援する会社、さまざまな文化活動に積極的に取り組む会社として、皆様の期待と信頼に応えて行きたいと思っています。

本年もよろしくお願いいたします。

ジェーアイシー旅行センター(株)代表取締役

国際親善交流センター副会長 伏田 昌義

もう少し悩んでもいいと思うんですが...

今年は『すんなり』をテーマにロシアとサッカーをこじつけてみます。とは言うものの、今年の J1 といい EURO2008 予選のイングランド敗退(ロシアは本選出場!)といい『すんなり』だけではないんですが。

岡ちゃん、『すんなり』なかんじ。サッカー協会はなんかずるい。キャプテン・川淵は責任取らず次の候補を探す。ファンには次の人はこの人かも〜って匂わせといて、当の監督候補にはその心積もりと『世論がそうなるから』というプレッシャーを与えて、さらっと決める。サクッと決まったことは悪くはないし、ベンゲルをいつか...とか叶わぬ夢をグダグダ迷ってるよりマシなんです、なんか気に入るんですよ(でも、グランパスついにストイコビッチ呼んじやったし、言ったりやなんとなかなるものなのかもしれないよ、キャップ)。間違っても、岡ちゃんが悪いと言ってるわけではありません。むしろ、『いいぜ、これ』。

カズを切った合理主義、とことん悩むところ、マリノスの二連覇〜札幌で J2 優勝の手腕も伊達じゃない。天然ちゃんのジーコと比べてはいけません。マスコミに『オシムよりツッコミ易い』なんて言われてほしくない。ぜひぜひ頑張ってください。

ロシアで 12 月 3 日に下院選挙があつてプーチン組が『すんなり』でした。まあ、かの国の民がいろいろおっしゃってるのでいいんじゃないでしょうかね。『投票率 6 割強、投票してないのは反体制と考えられる』なんて分析もありましたが、それはないじゃないかと。政治に無関心という人たちだっているだろうし、むしろそんな人たちが付和雷同してプーチン組



UEFA チャンピオンズ
リーグ決勝の舞台は
ロシアですよ！

に無条件で投票してるっていうのも多いんじゃないでしょうか。首相になって大統領を操るのも、憲法捻じ曲げて 3 期目就任 OK にするのも、『専制君主制』のイメージは変わらないのでどうかと思うんですがね、プーチンさん。

誰が適任なのか？日本代表が気になる人は監督よろしく J リーグ見たり、海外組の視察を怠らないで下さい。ヨーロッパへ行くにはアエロフロートがお得です。是非 JIC を御用命下さい。ロシア政治を気に掛けている方はロシアに行ってください。稚拙な見解ですが、こういう確固たる考え方を持つようになったのは、私自身ロシアに旅し、留学し、働いているからです。そのきっかけが JIC の旅行・留学であれば我々は大変うれしく思います。

最後に、今年も皆さんにとってよい年でありますように。

東京 林 寛之(はやし ひろゆき)

おじいちゃんには負けません！

新年あけましておめでとうございます。大阪支店の永富です。ついこの間新年の挨拶を書いていたはずなのに、もう 1 年たちましたね。昨年は 30 歳になって 1 年目ということで、意気込んだ？せいもあってか例年以上に「あ！」という間の 1 年でした。皆さんはどんな 1 年だったでしょうか。

30 歳になって、記念になにか新しいことをしてみたいと思っていたところ、先日、友人の誘いもあり、マラソン大会に出してみました。島根県で毎年開かれる、「なかみマラソン」という全国？大会でゲストとして、谷口浩美さんや丸山弁護士も参加するような、意外と規模の大きい大会でした。こう見えても私、大学時代はいちおう体育会に所属し、バリバリ運動をしていたので体力にはそこそこ自信はあり、初めて走る人がまずは参加してみる「10km の部」ではなく「ハーフ(約 22km)の部」に挑戦してみました。会場について驚いたのは、参加者の多さ！！しかも中高年が多い！中にはこのおじいちゃん本当に走れるの！？と思う感じの人も。どこからこんなに湧いてきたのかと思うほどのヒト・ヒトで、「こんなにランニングするヒトいるんかー」と思うと同時に、どこかに役所広司が立っていて『ランニング市場を駆け抜けろ』と、うまいことを



はやお～♪

ばば、どこ？

たしゆけて～！！

言う蟹江敬三の声が聞こえてきそうな雰囲気でした(よく分からない人すいません)。

さて、そうこうしているうちに、谷口さんのピストルでいざスタート！谷口さんに負け

ない満面の笑みで、走りだしました。

・・・(しばし素敵なランニング映像を想像してください)・・・自然あふれる海岸線を走るコースでは、大勢の地元の人たちの声援もあり、想像以上に気持ちよく、新鮮、爽快

なものでした。1 キロ、2 キロ、5 キロ、10 キロとまるで選挙にでるかのごとく声援に手をふり応えていきます。さらに給水所では、+α の塩飴やバナナが、さらに元気をくれました。いやーほんとに快適です・・・・・・快適・・・・・・。

・・・その後の記憶はありません。唯一記憶があるのは、私を笑顔で追い抜いていく、さっきのおじいちゃんの「はい、青年がんばれよー」という声援でした。

ゴールしたときは、制限時間ギリギリ 5 分前・・・正直なところ、予想以上の自分の体力の衰えはショックでした。が！同時にゴールしたときの達成感・充実感は、久しぶりの感覚で最高でした。この感覚を味わえただけでも、参加した甲斐があったと思います。しかし、やはりなんか悔しい！そんなこんなで、今年はおじいちゃんを目標に一年過ごしてみます。26 番のおじいちゃん元気に生きていてください。そして皆さんも元気な一年を共に過ごしましょう。

大阪 永富 文彦(ながとみ ふみひこ)

いいですねえ～、ロシア！

新年明けましておめでとうございます！

私は、昨年新しく JIC のスタッフとなりました、富樫と申します。東京オフィスで留学担当として勤務しております。どうぞよろしくお願いいたします。

私は、当時大学の専門科目としてロシア語を学んでいたわけでもないのに、2004 年にロシアへ留学し、それから帰国後 2 年間ロシアとかかわりのある仕事をし、そして

昨年、縁あって JIC でお世話になることになりました。これには、自分の意志とは裏腹に(もちろん自分の意志でもあったのですが・・・)、何かに導かれるようにしてここまでやって来たような気がしてなりません。周囲の人たちは、私のロシアへの強い執着に驚嘆し、「前世はきっとロシア人だったんだよ」と口々に言います(苦笑)。

先日、ちょっと嬉しくなるようなことがあったので、この場を借りて書いてみようと思います。美容室で、美容師さんと会話を交わしながらカットしてもらう機会は多いですが、「仕事は何ですか？」と聞かれることがあります。「ロシア専門の旅行会社で働いています。」という私の答えに、「えっ・・・ロシアですかあ・・・・・・」大抵の場合、ここで話は終了してしまいます。いくらサービス精神の旺盛な話のうまい美容師さんでも、頭の中にロシアに関する引き出しは持っていないのです。ほかの引き出しの奥から一生懸命引っ張りだしてきて、



はじめまして。
よろしくお願いします

「みんな毛皮の帽子をかぶっているんですか？」なんて月並みな質問をするのが関の山です。そんな時私は、ああ、もうできるだけロシアの話を美容室で話すのはやめておこう、と思うのです。

しかし、先日行ったネイルサロンのネイリストさんは違いました！「えっ！ロシア専門ですか！それはレアでかっこいいですね〜」「オーロラとか見られるんですか？」「シベリア鉄道に乗ってみたい！ロシアは広いから西と東では全然違うんでしょうねえ」なんて、嬉しいことにいろいろなことを聞いてくださいました。私も気をよくして、「ロシアの女性は美の追求には余念がないですから、ネイリストさんなら、ロシアで食いつくれることは絶対にないと思いますよー」なんてことを、つつい口走ってしまいました。

日本では、ロシアは「寒い」「暗い」といったイメージばかりが先行してしまって、留学はもとより、旅行に行くこともまだまだ市民権を得られていないですが、「ロシアが好きなんですよ〜」「ああ、いいですよ〜」みたいな会話が、日本のあちこちで聞こえてきたら良いなあ、とそんな日を夢見ています。私自身、これからは仕事でもロシアへ行く機会が今まで以上にもっともっと増えそうなので、とっても楽しみにしています。

東京 富樫 万里枝(とがし まりえ)

去年も 1 年お世話になりました。キエフに行ってきました♪

皆様、明けましておめでとうございます。今年も JIC をよろしくお願い致します。

2007 年はたくさんのお客様の個人旅行を手配させていただき、とても楽しかったです。毎日お客様の旅行を手配していると、自分も旅行に行きたくなります。

夏休みを利用して、私は初めてキエフに行ってきました。5 泊 7 日、ゆったりキエフを満喫してきました。たくさん歩いて、たくさん食べて、とても充実した旅行になりました。特に気に入ったのはミハイロフ広場とペチェールスカ大修道院です。ミハイロフ広場は真っ青な空に聖ミハイル聖堂の黄金ドームというコントラストがなんともさわやかでした。私が訪れた時は晴天で、結婚式も行われていて、こんなところで結婚



ウクライナの次は
グルジアを
狙ってます！

式を挙げたら素敵だろうなあと思いました。ペチェールスカ大修道院は、あまりに広くてすべての教会を見て回ることはできませんでした。三位一体教会と全聖者教会を見ましたが、薄暗い教会内はろうそくのみで照らされていて、荘厳な雰囲気はまさに鳥肌ものでした。次にキエフに行く

ときもまた必ず訪れたいです。

キエフでは美味しいものもたくさんたべました。特に気に入ったレストランはグルジア料理のお店「ゴレツ」。ウクライナ料理はもちろん美味しかったけど、ここのグルジア料理は忘れられない味でした。ハルチョー(スープ)やハチャプリ(チーズパイ)は絶品です。あとグルジア赤ワイン「キンズマラウリ」!!!これははまりそうです。日本でも買えるみたいですが、是非グルジアに旅行に行ってお店のキンズマラウリを味わいたいと思います。

皆様からご希望の旅程を伺う中で「この旅程楽しそうだなあ〜」とか「こういう回り方もいいな〜」など、お客様から学ぶことが多いと日々感じております。今年も皆様からの多種多様なご旅行依頼をお待ちしております。今年も 1 年よろしくお願い致します！

東京 鶴田 ゆり(つるた ゆり)

子育てと自分育て

あけましておめでとうございます。

昨年 3 月 16 日に誕生した、長男・広宣(ひろのぶ。以下ひろくんとします)も、おかげさまですくすくと育ち、もう早くも、9 か月を迎えました。ひろくんにとっては、見るものすべてが新鮮な刺激のようです。何でも手にとっていじりまわし、そして口に入れてしまいます。全くもって目が離せません。まだ2本足では歩けませんが、匍匐前進、それもかなりのスピードで、我が家のすみずみまで探検して回っています。おかげで床は、ひろくんのお腹がモップ代わりで、拭き掃除いらずといった感じです。少しずつですが、つかまり立ちも始めています。



似てますか??

親になってみて、世の中を見る目も、自分で自分を見つめる目も、だいぶ変わったような気がします。この子が小学校にあがるころ、世の中は、そして自分はどうなっているのだろうか、そしてこの子が成人になるころには。

どこかに出かけても、新聞を読んだりしても、世の中の様々な仕組みが、子どもやお母さんに優しいかどうか、ということをよく気にするようになりました。きっと、昔に比べてずっと、世の中の制度や、乗り物や建て物が、子どもや子どもを連れたお母さんのことを考えてくれるようにはなったと思います。しかし、それらを取り巻く社会の意識はどうか。きっと昔は、子育ては地域の濃密なつながりに守られていたのではないかと思います。しかし今はどうか。

また、今は共働きが当たり前の社会です。お父さんは働いて、お母さんはうちと子どもを守る、という価値観はとっく

に過去のもののほずです。しかし、現実には子育てをしながら働くお母さんを、守ることができるようになっているのか。

そして、ひろくんという鏡に映して、今の自分とこれからの自分を、ずいぶん客観的に見つめられるようになったようにも思います。子育ては自分育て、といった人がいました。いまその言葉を心から実感しています。その甲斐あってが、一昨年 5 月 3 日に結婚して以来、ぱったりやめていたダイエットを、最近再開できました。といっても、近ごろはやりの「レコーディングダイエット」です。要するに、ひろくんと同じように、これまで見つけたものは何でも手当たりしだいに口に入れていたのをすっぱりやめただけですが。でも、わずか 1 か月で 3 キロ減量することができました。自分のためだけでなく、この子のためにも、ずっと健康でいなければなりません。



5 年後、ひろくんが小学校に上がるまでに、ロシアとヨーロッパを、鉄道か何かで巡る旅に出ることを当面の目標に、子育てと自分育てを頑張ろうと思います。今年もよろしくお願いします。

東京 神保 泰興(じんぼ やすおき)

実り多き 2007 年、今年の意気込み！

あけましておめでとうございます。

早いもので、モスクワに事務所が出来てもうすぐ 2 年が経とうとしています。全てが手探りの中で始まった事務所作りですが、徐々にモスクワでも皆さんに認知していただけるようになってきました。

2007 年のモスクワ事務所はたくさんの出来事がありました。その中で印象に残った出来事を 2 つ挙げたいと思います。



ムールマンスク
今回はオーロラは見
られませんでした。。。

まず、1 つ目はジャパンクラブの遠足です。現地在住日本人を対象としたジャパンクラブの事務局長の依頼で去年の 8 月から月 1 回の催しで始まった遠足なのですが、メリホヴォ、ポレーノヴォをはじめとするモスクワ近郊日帰りツアーから、ムールマンスク泊りがけオーロラ見学ツアーまで、わずか半年間足らずで距離と回数の記録をどんどん延ばし、多くの人に参加していただきました。現地の日系旅行会社と交代で担当しているのですが、私自身、行ったことない地域がほとんど、同業他社とはいえ、協力して何度も下見を重ねました。努力のかいあって、毎回多くの方にキャンセル待ちしていたかなくてはならないほど好評をいただいています。また、

この人気のほどを見ると、いかに個人的に旅行や郊外に出かけにくいところなのかと、現地の生活の厳しさも感じます。2008 年は年明けから早速、ムールマンスク第 2 弾、カーニングラード、ソチと大掛かりなツアーが続きます。

また、もうひとつの出来事として、年末のモスクワ音楽劇場の日本公演がありました。JIC も公演のお手伝いをしたのですが、劇場付属オーケストラ付きの総勢 140 名の大掛かりな引越し公演ということで、ある程度予想はしていたものの、かなり大変な招聘となりました。ただ、今回のようにロシアのすばらしい芸術を日本に紹介できる貴重な機会をお手伝いできたことは、大変嬉しく思っています。

2008 年 JIC モスクワ事務所は、今以上にもっと現地在住の皆様のお助けになり、信頼され、より多くのご希望に添えるような事務所に成長できるよう、より一層努力していきたいと思っています！

モスクワ 山川 詩保子(やまかわ しほこ)

マトリョーシカ工場巡りの旅

明けましておめでとうございます。昨年 11 月に 7 日間、キーロフ、セミョーノフ、セルギエフポサドと、マトリョーシカの産地を巡るツアーの添乗をして参りました。マトリョーシカ工場では製造工程の見学をしたり、倉庫でツアー参加者用にできたてホヤホヤのマトリョーシカの卸値即売会を開催したり。モスクワでの市価の 3 分の 1、半額といった品もざらで、皆さん両手一杯にマトリョーシカを購入されていました。セミョーノフ工場では、工員さんたちに助けてもらいながら約 90 分間のマトリョーシカ絵付け体験。皆さん制限時間内で何とか配られた白木に筆を加えていきますが、5 個の入れ子の最初の 1 個を完成させるのが精一杯。それでも工場長さんから真顔で、うちの工場ですばらく勉強したらいい職人さんになれるよ、と誘われる参加者の方が出てくるほど皆さん仕上がりは上々。わずか 7 日間で上記の都市にモスクワ、ニジニノブゴロドを加えた 5 都市を訪問。寝台列車に航空機を乗り継いで、忙しいけれど内容はかなり凝縮したツアーとなりました。



次回のツアーを
お楽しみに！！

今回ツアーのコーディネーター兼代表を務めていただいた写真家であり詩人でもある沼田元氣さんは「マトリョーシカ—こけし交流」として、日本のこけしの白木にロシアのマトリョーシカ職人さんに絵付けをしてもらい、マトリョーシカの白木に日本のこけし職人さんに絵付けしてもらったものを共同展示するプランを計画中。また、次回ツアーも考案中です。機会があればぜひご参加ください。また今回ツアーの様子が次回のインフォメーション誌上で掲載される予定です。ご興味ある方は一読ください。

東京 杉浦 信也(すぎうら しんや)

「皆さま、はじめまして」

あけましておめでとうございます。昨年4月より、東京事務所にて皆さまの渡航のお手伝いをしております相澤進之助と申します。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

昨年まで北海道で日本国内やハワイ、ソウル、バリ島旅行など一般的な旅行の仕事に携わっておりました。縁あって、学生時代に留学したロシアに関わる仕事に、上京して就くという、私の中では激動の年となり、毎日仕事の喜びとまだまだ乏しい専門知識の量を実感、まさに日々勉強の生活を過ごしています。とにかく旅行だけは好きで、ロシアならムルマンスク、キジー島、ソチ、ボルゴグラード、カリーニングラード。昨年も仕事絡みでしたが、ウラジオストク、ハバロフスクと東西南北を訪ね歩いています。広大な大地と根っからの人の良さをもつロシア人が迎えてくれ、心を豊かにしてくれるロシアはいつも故郷の懐かしさを思い起こし、訪れるたびうれしくなります。

まだまだ認知度が低く、知られざる国々であるロシア・CIS諸国を、もっとたくさんの方々に知ってもらいたく今年も邁進していく所存です。個人的なモットーとしては「常に色々なことにチャレンジする」を掲げ、昨年は富士山登頂。シンガポール・マレーシア・インドネシアでの旅行では、徒歩・バス・船という飛行機以外での初めての出入国、という経験もでき、とても充実していました。今年も様々なことにチャレンジしていきたいと意気込んでおります。

2008 年、皆さまがよりたくさんの幸せにめぐり合う、良い年になりますように！

東京 相澤 進之助(あいざわ しんのすけ)

海外ドラマが面白い！？

最近 CS や NHK で放映されるアメリカ製ドラマを見ることが多くなりました。

ファンタスティックなドラマ「HEROS」やシリアスなドラマ「E・R」も見ますが、どちらかというと私は「デスパレードな妻たち」や「メルローズ・プレイス」などの登場人物たちが日常の中で恋愛沙汰になったり、アクシデントや事件に巻き込まれていったりするようなドラマが好きです(日本で言えば昼メロに近いかも)。アメリカドラマは概してキャラクターがはっきりしていて「こんなやつ、おらんやろ？」というような、いつも体の線がくっきり出るような服を着た金髪の女性がいたりします……。それだけでなく、登場人物の物言いもしっかりしていて、「そんなこと言って大丈夫？」などと画面に向かって突っ込みを入れることもしばしば。登場人物は製作者の意図

により、熟考せずに事を起こしたり、恋愛してはいけない人を好きになったり、アクシデントに巻き込まれたりしているので、

いつまでも話が続いて面白いわけですね。自分の日常が平凡であるからこそ、こんな単純なドラマを面白いと思えるのでしょう。

ところで、最近我家の子供たちに服を買ってくると「あたらしいの！」と喜び、髪を切れば「髪を毛切った？」と指摘し、クリスマスの飾りを見ると指さして教えてくれます。そして、怒られたときには世界の終わりのように泣き、時々アクシデントに巻き込まれてケガしたりしております……。彼らにとっては、今すべてがドラマなのかもしれません。と考えると、実は日常の中にも探せばドラマは転がっているのかも。目を凝らして見てみれば、JIC の中にもドラマは色々あるのかもしれないね……。

私自身としては公私とも平凡で、でも時々楽しいドラマがあるような1年にしたいです。今年もよろしくお願いいたします。

大阪 小原 浩子(こはら ひろこ)

「四国とロシアと世界」

新年明けましておめでとうございます。昨年は本当にみなさまにお世話になりました。

去年、旅行で四国に行った際に驚いたことがありました。電車で移動しようと駅に行ったら、まったく切符の買い方がわかりませんでした。もちろん全部日本語で書いてあるのに、自分はどんなルートで、どの料金の切符を買えばいいのかわからず駅員さんに尋ねてみたのですが、希望通りの返事は



JIC のウォッカ講座で
カクテル作り♪

はありませんでした。仕方ないので携帯電話で最短ルートを検索して、切符はとりあえずの料金で買って電車に乗ってしまいました。携帯電話に感心です。本当にその通りに目的地まで着くことができました(当たり前かもしれませんが)。日本人でも、日本を移動することって意外と大変だな、とつくづく思っていました。

最近は日本を旅行する外国人が増えましたよね。軽装で、ガイドブックを持って、縦横無尽に旅行する姿を見るとうらやましいなと思っていましたが、日

社員旅行で
直島へ行きました



本を旅行することも結構難しくて、それなりの苦勞がありそうです。日本人がロシアを観光旅行するときと同じですよ。言葉の問題をとっても、ロシアは「ロシア語しか通じない」という場面が結構ありますが、日本もほかの国と比べると、「日本語しか」の場面が多いんだろうと思います。あの四国の駅に、英語もロシア語もなかったように。

苦勞があつて、思い通りにいかなくて、時々さみしくなったりしながら、そんな中から発見あり、交流あり、驚きありと日常生活で味わう機会が少ないことが目白押しなのが旅行ですよ・・・と思いつつも、いつもと変わりばえない机の前に座ってばかりではまだまだ甘いですね。今年は、日本国内、ロシア、そして世界に行ってきます！

東京 柳沢 昭子(やなぎざわ あきこ)

よい子はお外で遊びましょう！

皆さま、あけましておめでとうございます。今年も JIC をよろしく願いいたします。

昨年のご挨拶で、ジョギングを数年ぶりに再開したことを書きました。それがきっかけかどうかは分からないのですが、昨年はなぜか「外で遊びたい病」にかかってしまい、日焼けの恐ろしさも考えず、週末の度に外遊びに出かけていました。山に登り、川を下り、星を観て、滝つぼに飛び込む・・・う～ん、健康的！

外で遊ぶのに一番気になるのがお天気ですよ。お天気がとっても良かった時と、とっても悪かった時の思い出は特に印象に残ります。中央アルプスの北岳(標高 3193m)山頂から見た雲海と、雲に浮かぶ富士山の頭、北アルプス蝶ヶ岳(標高 2677m)から見たガスのかかっている穂高連峰、

空気の澄んだ夜に天文台で観た土星と月の光。一方で、横殴りの大雨が耳に刺さり、突風に煽られながらほふく前進ですすんだ室堂～五色ヶ原。どれも思い出深い出来事です。すばらしい景色が見られれば素直に感動し、雨風嵐に遭った時のことはなおさら忘れられずにリベンジしたくなります。どんなに辛くても自然の中では全てが自己責任。自然を思いっきり楽しむためにはきちんとした知識と装備と心構えが必須だと、悪天候が教えてくれました。でも大変な思いをすればするほど、成し遂げたときの達成感は大きくなります。それは遊びにおいても仕事においても同じことが言えるのではない

すばらしい天気！
北アルプス最高です



水勢が
きつい・・・



かと思います。

で、今年はと言うと・・・上へ下へと忙しい一年になりそうです。まずは富士山登頂、それからスノーシューとダイビング。でも今なら、コタツにミカンの休日たまにはいいかなぁ、と思いますね。

最後に。今年の目標は JIC 山岳部結成です(笑)！

大阪 小西 章子(こにし あきこ)

やっぱり「ロシア」が好き！？

あけましておめでとうございます。昨年 10 月に入社しました、佐藤と申します。JIC では経理・総務の仕事をしています。どうぞよろしくお願いいたします。

JIC に入社してすぐに感じたのは、ここのスタッフは皆ロシアが大好きなんだなあということです。かくいうわたしも大学で初めてロシア語に触れて以来、何度かロシア(ソ連)を訪れ、その延長でハバロフスクで生活したこともありましたが、ここ 10 年ほどはロシアとは離れた仕事をしていました。しかしながら、私の中には常に「いつかまたロシアに戻るぞ!!」という思いがありました。その望みが叶った今、社内で懐かしいロシア・旧ソ連の地名が聞こえてくるとついうれしくなって「ニンマリ」している自分がいます。

最後にロシアを訪れたのは 4 年ほど前になりますが、今でも忘れられない光景があります。ウラジオストク～ハバロフスク間のシベリア鉄道に乗っていたときのこと。明け方 3 時ごろ、ふと目が覚めたので窓の外を眺めたら、そこには今にもこぼれ落ちそうな満天の星空が。その息を呑む美しさとは対照的に、列車は明かり一つない、不気味なほど真っ暗な原野をただひたすら走り続けています。その対比がとても幻想的かつ神秘的で、何ともいえない不思議な気持ちになったことを今でも時々思い出します。

未熟者の私ですが、JIC でロシアの魅力をより多くの方々にお伝えする手助けが少しでもできれば、と思っています。

最後になりましたが、2008 年が皆様にとって幸多き年になりますように！

東京 佐藤 早苗(さとう さなえ)

新年のご挨拶 2008

皆様、新年明けましておめでとうございます。去年 1 年は怒濤のごとく過ぎ去った年でありました。いろいろな事件や問題が多かったのもありますし、お客さんが前年よりたくさん来たというのもあり、息つく暇のないくらいでした。

去年の夏休みは連休明けの閑散期にモスクワの知人の



はじめまして♪
ロシアは良いです

家に行きました。モスクワは日中 30℃を超えそうなほど(超えていたかもしれない。。。)暑く、緯度が高いせいか直射日光もすさまじく照り付け、あべく日が長くなっているのので夜 10 時を過ぎてもうすら明るい感じでした。中心地では暑くてやってられないということで知人のダーチャ(別荘)へ行きました。じつはこれが私の初めてのダーチャ体験だったのですが、この知人のダーチャはモスクワ中心地からそれほど遠くなく、車でも 1 時間ほどで行けてしまうようなところにありました。近くに鉄道が走り、幹線道路沿いには、マクドナルドやショッピングセンター、フィット



ネスジムまでありました。郊外もここまで発達してるのだなと感心していましたが、ちょっと道を入るとそこはもう別世界のような光景が広がっていました。ダーチャが密集している地域ではありましたが、舗装されていない道や小川、森がすぐ



そばでした。庭で卓球をしたり、バドミントンをしたり、自転車で小川や森の周辺をサイクリングしたりしていると、自然と心が癒されていくのがわかりました。たった数日間でしたが、普段都会に住んで会社と家の往復しかしない私にとってはとても貴重な体験であり時間であったと思います。やはり人間は自然と切り離しては生きられないのだなと実感しました。

というわけで、今年は無理をせず、身体的にも精神的にも健やかな毎日が送れるような年にしたいと思います。

東京 鈴木 要子(すずき ようこ)

ロシアで寒中水泳はいかが！？

皆さん、こんにちは♪去年もあっという間に終わってしまいました。皆さんにとってどんな一年でしたか？

さて突然ですが、皆さんは寒中水泳をされたことはありますか？ロシアでは健康のため、寒い冬を丈夫な体で乗り切するためと寒中水泳を(“友人いわく”ですが・・・)盛んにする



そうです。私はロシア・タタールスタン共和国にあるカザンという町の郊外にある湖で寒中水泳をしたことがあります。日本でだって寒中水泳などと

んでもない！と、冬が大嫌いな私がまさかロシアで！？自分でも驚きでした。ご存知のとおり、ロシアの 1 月の平均気

温はもちろんマイナス・・・℃(笑)。この日の朝も冬晴れのすがすがしいマイナス 20℃でした。水着をつけ、すぐに着脱できる服装で、バリザム(Б а л ь з а м:ロシアの養命酒のような飲み物)を持って仲間と湖へ向かいました。着くと、すでに早い時間からたくさんの人がひと泳ぎ？していました。見渡す限り、たくましい男の人ばかり・・・でも、用意万全でここまで来てしまった以上もう逃げられません。気がつくと、仲間の一人がもうザブンと水の中へ。「早くおいでよー！」と叫ぶのです。水の中は空気中より暖かいから平気！と覚悟を決め、服をさっと脱ぎすて、雪の上を裸足で全力疾走、そして勢いよくザブン。すると・・・あら、ホント。一度水中に入ってしまったら外より暖かいじゃない♪とても深い湖だと聞いていて怖かったのですが、ガンガン泳ぐまわりのロシア人には混じらず、端で静かにしばらく浸かっていました。そうです、実際は“寒中水泳”をしたというより、“寒中水浴び”をしたというのが正しいですね。水からあがって急いで着替えるやいなや、仲間に勧められるままバリザムを一気に飲みました。普段から全くアルコールを口にしないので、どうなることかと思いましたが「郷に入れば郷に従え」で(?)、現地の人に倣って大正解。すぐに体が温まり、もう気分は最高!!!まさに生き返ったようでした。なるほど、水に入ったその日から体の毒素が全部抜けたような感覚が本当にありました。ロシア人の言うとおり、その冬は全く風邪を引きませんでした。ちなみに一緒に湖へ行った仲間の一人は、毎年冬になると週 2, 3 回泳いでいるそうです。やみつきになるのだとか。実際、私のように一度きり泳ぐのではなく、定期的に泳いだ方が効果があるそうです。ロシアで寒中水泳、またやりたいなあ!

東京 藤枝 康子(ふじえだ やすこ)

聖なるわれらが国家！国歌よ！

Россия - священная наша держава
Россия - любимая наша страна

これはロシアの国歌の歌いだしです。最近この歌がとても好きになりました。国歌の人気ランキング(?)でもアメリカ国歌に引けをとらないほど、世界では人気の国歌らしいです。確かに！



聞いてみるとなるほど・・・といった感じです。この国歌は、ソ連時代と歌詞は変わったものの、メロディーは同じだそうです。一時消滅して別の国歌になったらしいのですが、ロシアの人たちにとってこのメロディーが良かったのでしょうか。いかにも大国ロシアをイメージした荘厳なメロディーです。最近では、ポップス、レゲエ、ロックなどにアレンジしたものもあっていろいろ楽しんで聞いています。

去年はバスケットボール欧州選手権での男女アベック優勝や、サッカー・バレーボールなどでのロシアチームの活躍もあり、この国歌を何度も聞く機会がありまし

た。今年はいよいよオリンピックの年なので、何度かロシア国歌を聞く機会があると思います。まだ聞いたことがない方は、ぜひ耳を傾けてください。もちろん、オリンピックでは日本国歌もたくさん聞けるように応援しましょう!!

今年もみなさまにとってよい年でありますように。宜しくお祈りします。

大阪 後藤 正明(ごとう まさあき)

ミクロなおめめ

新年おめでとうございます。二歳になる長男を出産後は、事情により家でぼちぼちと裏方仕事をお手伝いしていましたが、そうこうするうちに第二子を妊娠、3月に出産予定です。なかなかお客様にお会いする業務に戻ることができない私ですが、日頃はずい分地味な生活を送っています。

家から徒歩3分の公園を横切り、大通りを横切り、道なりにずうっと5分ほど行くと、スーパーに着

きます。長男を連れて、散歩がてらこのスーパーまで二日に一度はお買い物。息子も今や駆け足でたどり着ける距離なのに、なぜか毎度往復2時間ほどかかります。落ち葉をいじり、壁の模様を仔細に眺め、シャッターを爪でひっかいては母親泣かせの不快な音を出して喜ぶ……。毎日同じ遊びをするようでいて、次第に新たな発見が加えられ、あるいは淘汰されて変化していく。片道10分ほどのはずの道のりに詰まっている面白さには果てがないようです。

つい触発されて一緒に面白がってしまう私ですが、そんな道中ふとJICに関する事が頭に浮かび、ああ、世界はもっともっと、とっても広いんだよね〜。と思いを馳せることがあります。こんなにミクロな世界でも楽しむおめめのままでコーカサス三国巡りでもした日には、感動しすぎて気絶してしまうかもしれません。実際には私たちは、大旅行なりプチ散歩なり、旅程にふさわしい目で取捨選択をしながら周りを見ているのだと思いますが、その気になればどこまでも感度をあげて、深く広く、楽しむことができる。さらに事前に知識を加えて見ることでできる。なんだか旅行の楽しみって、無限の可能性があるんだなあ……。あ〜、久しぶりにどこか行きたいなあ……。とどこまでも思いは広がっていくのですが……。それは今の私には、とってもとても、遠いユメなものでした。

東京 百瀬 智佳子(ももせ ちかこ)

旅立ちの国

まっさらなパスポートにひとつめのスタンプが押された「出国 NARITA」。その先に待っている目的地「新しいパスポート

トーカ国目」を決めるのには少しばかり考えた。これから10年付き合っていくパスポート使い始めはどの国がいいだろう——もう何十回も読み返している旅本がある。その主人公の男が一年以上の放浪を終わらせるきっかけをつかむのがユーラシア大陸の果て、サグレスという岬——彼が「旅の終わり」を決めた場所を、新しいパスポートの「新しい旅の始まり」の場所として訪ねてみるのは、ちょっと面白いんじゃないかなと思い、今回は、ユーラシアの端っこの国へ飛んでみることにした。旅先で会う人は皆「スペインのついでに寄っていく国」として話していたので「ついでの国だけ」を目指す者を珍しがっていた。

カスカイスからのローカルバスに乗りロカ岬に向って走る。ユーラシア大陸最西端、ロカ岬だ。「ここに地終わり海始まる」と刻まれた十字架の碑を背に、大西洋を見渡す。なぜ、大陸の隅にある小さな国が大航海時代を生き抜き、わざわざ遙か東にあるゴア、マラッカ、マカオなどを領土にできたのか、今まで不思議に思っていた。その答えは、この国を旅してみても大西洋を見渡すことで感じ取れる。ユーラシアの大きな陸の塊に背中を押され、海の向こう側へ行ってみたい、と強く心が引く張られるのだ。「ああ、この国は決して果てではない。たとえ陸が果てたとしても、目の前には自由の海が手を広げて迎えてくれている。この国は、旅立ちの国なんだ。」

新しいパスポート旅の始まりに満足し、その旅は続く。

東京 金井 義彦(かない よしひこ)

ロッククライミング始めました(^ ^)v

新年明けましておめでとうございます。本年もみなさんにとって良い年になりますように。

毎年このインフォメーションで私の趣味を披露していますので、今回もここでご報告いたします。

昨年は日本百名山を遂に20山を達成!! その他、テレマークスキー、スノーシュー、残雪期の信

越地方、夏の鳳凰三山、秋の中央アルプス縦走、年末登山(冬の赤岳)など、季節を問わず山行三昧でした。また『冬山目指してまずは身体作りから』と

あ、モアイをバックに
お願いします。



(撮影地:宮崎)

もうすぐ
お兄ちゃんです!



今年も
山三昧♪



思い、夏にジョギングシューズを購入してからはや半年。トレーニングという名目で自宅周辺を走っています。

さて今年の目標はズバリクライミング上達一です。昨年のインフォメーションにクライミングに挑戦したいと書いてから約 1 年、やっと先日ク

ライミングジムへ足を運ぶことができました。電車で 15 分ほどのところにある Stone Magic というジムです。人工壁面に様々な形をした「ホール



見た目より過酷です...

で固定され、レベルによって色分けされたルートに登る世界選手権なども行われているスポーツです。

言葉で書くと『なあんだ、登るだけでしょ？子供が遊ぶジャングルジムみたいなものじゃない』なんて思うかもしれませんが、そこを登るのが本当に難しいのです。クライミングと一言で言っても、ロッククライミング、フリークライミングやアルパインクライミング、その中でもロープなどの安全確保無しで登るボルダリングなどがあります。ルールは極めて単純ですが、全身のバランス力やパワーをフル動員する過酷なスポーツです。

クライミング技術の上達は、今後アルパインクライミング(岩壁登攀)や冬山のアイスクライミングの技術向上にも役立ち、究極の登山—自然の全容を体感できるための必要な技術です。これに挑戦することは私自身のプロセスにもつながると思います。

東京 白井 真理奈(しらい まりーな)

結婚しました！

新年あけましておめでとうございます！去年はいろいろとお世話になりましたが、今年も宜しくお願いいたします。

2007 年は私にとってとても幸せな年でした。8 月 10 日に結婚しました。ここで妻・ワレリヤをご紹介します。ワレリヤは、ウクライナのハリコフ(Kharkov)出身で、バレエをやっています。2003 年と 2006 年に日本に来たこともあります。

今はキエフバレエ学校の 4 年生で、11 月に西ウクライナツアー、12 月に韓国ツアー、年が明けて 1 月 7 日(ロシア・ウクライナ正教のクリスマス)に、キエフ・オペラの舞台上、くるみ割り人形の中の「ロシアの踊り」を踊りました。リハーサル場は、



ウクライナとトルコを
組み合わせた旅行も
いいと思います

キエフ・オペラ座の隣の教育家会館でした。教育家会館はロシア帝政時代に博物館として創立されました。1918 年にはそこでウクライナ人民共和国の独立政府が会議を行いましたので、ウクライナの歴史の中で意義深い建物といえます。

さて、結婚当日の夜中にはすぐ空港に行き、トルコへ新婚旅行に出発しました。ソ連時代には、ソ連人の主な新婚旅行先はクリミア半島かコーカサスのリゾートでした。現在は、トルコもクリミア半島も同じ程度の料金で行けるようになりましたし、サービス面でトルコの方が良いこともあり、トルコの人気が高くなっているようです。トルコのホテルではロシア語を話すスタッフが増えてきており、全然困ることがありません。以前はドイツの旅行者が多かったようですが、最近ではロシア人・ウクライナ人ばかりです。

トルコでの 1 週間はとても幸せでした。

モスクワ トカチェンコ・ドミトリー

「今年こそ…」

あけましておめでとうございます。

新年を迎えると「今年は何を始めよう」と意気込み、お正月休みが終わると慌しく 1 年が過ぎ、年末には「何もできなかったなあ」と後悔し「来年こそは」と思うサイクルがここ何年も続いています。懲りない私の今年の目標は「ロシア語の上達」です。

今思えばロシアの会社で働いていた頃がロシア語力のピークであり、それ以降(もう 15 年近くも経ってしまいましたが！)下降線をたどる一方です。「留学から帰国して 3 ヶ月経つとただの人」とよく言いますが、語学は継続して努力しないと本当に忘れてしまいます。

ロシア語を話している自分をビデオなどで客観的に見ると、スローペースな会話、「P と Л」「B と В」の区別もかなりあいまい、語尾変化もめちゃくちゃ…、恥ずかしく恐ろしい自分の実力に気づきます。現在の私のロシア語は「ただの人」ととくに通り越しているのです！

なんとなくロシア語に触れているだけでは退化するばかり、教科書のおさらいから始め、JIC ロシア語講座にも出席させていただき、少しでもマシな喋りができるようになりたいと思います。

今年は長年携わった旅行手配から離れることになりました。今まで旅行や留学の相談をさせていただき、皆様から多くの元気を頂きました。本当にありがとうございました。今後は JIC イベントやロシア語講座でお目にかかることができればと思います。

皆様にとって 2008 年が良い年になりますように！

大阪 三宅 まゆみ(みやけ まゆみ)



何事も継続が
大事です。

「小泉劇場」よりはるかに面白い

「プーチン・モノポリーゲーム」

すでに皆さんの耳にも入っているかと思いますが、12 月 10 日にロシア大統領が後継者にメドベージェフ氏を指名したようです。プーチン大統領と同じペテルブルグ出身のメドベージェフ氏は 42 歳という若さで第一副首相を務めながらロシアを代表する天然ガスの国営独占企業ガスプロムの会長も兼任しています。武力・保安系省庁の出身者が幅をきかせる政権内にあって、リベラル派を代表する人物として知名度が高いです。しかし彼がとった行動は、この先 10 年のロシアの将来を明らかにしたものでした。その行動とは、大統領退任後のプーチン氏に、次期政権の首相就任を要請した事です。

以前、ロシアでは「クークリ」(人形)という人気番組がありました。当時の主役政治家たちの人形が登場して面白おかしく様々な問題を論じるという内容のものでした。政治と金の執着や醜い勢力争いなどを正確に捉えた、熾烈な政治的風刺に富んだ番組でしたが、クレムリンの反感を買い、あえなく打ち切られました。プーチン大統領辞任後のロシア政権はある意味「人形劇場」に見えて仕方ありません。不動の人気を誇るプーチン氏は首相になった後、影から「メドベージェフ政権」を操り、やりたい事を好き勝手にやるでしょう。「心の優しいリベラル派」のメドベージェフ氏は、プーチン首相が「お勧め」してくる政策に対して反発もしないでしょうし、ガスプロムという巨大な企業の金脈もプーチンの「お勧め」の一つで動くでしょう。

しかし、このような事態になったのもロシア国民の選挙での決断があつての事。プーチン政権下でかみしめた生活の安定と経済発展の甘みは、自由な思想への気持ちよりはるかに「おいしい」からでしょう。

モノポリーゲームのように、軍隊・金融・天然資源・国民の支持を次々と買い占めた「プーチン有限会社」は、株が未公開のままどこまで「成長」するか、この先 10 年の見どころだと思います。

東京 モロゾフ・デニス

決意新たに 2008

あけましておめでとうございます。

昨年より入社を致しました鈴木と申します。JIC は学生の頃から、ロシアに留学をした時にお世話になったり、また大学のスピーチコンテストに協賛していただいたりと様々な縁のある旅行会社だったので、普段の日常業務に流されていると忘れがちになってしまいましたが、今こうして JIC で働けて



ウズベキスタンに
はまりました

いることをとてもとても嬉しく思っています。

なんだかんだで業界歴は今年で 3 年目に突入しますが、まだまだ至らぬ点も多々あり、日々

勉強だなあと痛感させられる毎日ですが、自分なりに精一杯頑張っていこうと思いますので宜しくお願いします！

最近それ相応の歳になったせいなのか、お肌もそうですが自分の人生も大きな曲がり角に差し掛かっているように感じます。社会人になって 2 年が過ぎ、昔から自分が思い描いていた理想と、そして今自分自身がいる現実のギャップに苦しめられて、もがいて、そして成長させられて……。そんなこんなしているうちにあっという間に時間は過ぎていきます。私を取り巻く環境も時の流れとともに、ものすごいスピードで変化し続けています。私の周りは今ちょうど結婚ラッシュです。次から次に結婚、出産です。お祝い金、やばいです。とんでくとんでく……。

と、話を戻して、やっぱり人生のターニングポイントつてありますよね。私にとってはきっと今がその時のような、そんな気がしています。「大変」な時は、良くも悪くも大きく変わる時。最近個人的にも仕事においても大変な事続きですが、良い方向へ大きく変わっていこうという

決意を胸に 2008 年も仕事にプライベートに全力投球していきますっ！！

東京 鈴木 美幸(すずき みゆき)

學而時習之、不亦説乎。

あけましておめでとうございます。皆さんの 2007 年はどんな 1 年でしたか？

ワタクシゴトで恐縮ですが、2007 年に楽しく学んだいろいろなことのうち「ことば」と「文学」に関して振り返ってみます。◇ロシア文学：連続講座「ロシア文学カフェ」(講師：阿部昇吉先生)にて 19 世紀ロシア文学のメインストリームを学びました。今頃になってお恥ずかしい話ではありますが、これによってようやくロシア文学全盛期のロシア社会の雰囲気のようなものがつかめてきた気がします。ここで学べた内容も大きいですが、ロシア文学に対して旺盛な興味がわいたことが最大の成果です。

◇ドイツ語：4 月から縁あってドイツ語の勉強会に参加させていただいています。2007 年の年初にドイツ語他の日めくりカレンダーを購入した時には予想していなかったことでした。レベルの高い勉強会で、私は見習いのような状態での参加ですが、自分にできることをしながらひたひたとついて行こうとがんばっています。

◇韓国語(+ハングル): 誕生日の友人のために、韓国人ポップスターRain(ピ)の歌を 1 曲、2 週間で憶えました！ひたすらその 1 曲を聴きまくり、また、歌詞を追うためにハングル基礎も学びました。付け焼刃で覚えた文字はすぐに忘れてしまいましたが、ものすごい勢いで聴きまくったおかげで歌詞はばっちり、今でも「暗唱」で歌えます！

◇ロシア語(受講生として): ついに念願かなってロシア語講座受講開始しました。他の受講生の皆さんと一緒にボリス・アクーニンの

“ファンドーリンの捜査ファイル”シリーズの一作品を読んでいるところです。楽しくて仕方ありません！読み物として味わえるような手ほどきをしていただけるので、フィクションの苦手な私でも(ちょうど文学に対する意欲が高まってきたところでもあり)とてもおもしろく読み進めています。この先もますます楽しみです。

* * *

追悼: 10 月には、ロシア語の土台を叩き込んでいただいた有難い恩師の 1 人、新田實先生が他界されました。この場をお借りしてご冥福をお祈りさせていただきます。

末筆になりましたが、皆さまの 2008 年のご多幸をお祈り申し上げます。

東京 曾根 直子(そね なおこ)

新年のご挨拶'08

皆様、明けましておめでとうございます！！新春のお慶びを申し上げます。

早いもので、入社してから 2 年が経とうとしています。JIC でアルバイトを始めたときは 21 歳だった私も、今では 24 歳…。そう言えば去年は年女だったんですよね…。自分で



言うのもいやらしいのですが、2007 年もよく働きました。お仕事は 3 月頃から顕著に忙しくなり始め、そのまま特に暇を感じることもなく 2008 年に突入したという感じです。

忙しいのは良いことです…正直、春から夏にかけての記憶がありません…(>_<。私、どんな風に過ごしたっけ…。しかし忙しい日々の中で、しっかり遊ぶことも忘れていなかったように思います。仕事終わりに、座席が硬くて狭い 4 列シートの夜行バスでディズニーランドに行ったり(しかも日帰り)、残業した後にクラブに行ってそのままオールしたり、

アルメニアも
いいところですよ



東京からの日帰りで新潟まで行き FUJI ROCK FESTIVAL に参加したり…。クラブでオールナイトなんて年齢的に結構辛いものです。踊りながら一瞬寝てしまった、ということもしばしば…。19 歳の妹より遊び方が若い私ですが、体は着いて来なくなったのでしょうか…↓↓↓

去年はロシアなどの手配地域には行けなかったものの、人生初のベタ☆リゾート体験としてバリ島に行くことが出来ました。波の音しか聞こえないビーチで、一日中寝そべて本を読む…そんな贅沢な時間を過ごしました。帰国後は仕事仕事の毎日に戻り、「あのバリでの時間は夢だったのではないか」などと本気で思ったほどです。

2008 年もきっとものすごいスピードで過ぎてゆくのでしょう。今年もまた一年を振り返るときに充実した気持ちでいられるよう、仕事にも遊びにも精を出そうと思います^^v

最後になりましたが、本年も皆様にとって素敵な一年になることを心よりお祈り申し上げます。

大阪 五十嵐 真夕(いがらし まゆ)

旅行、また旅行

新年おめでとうございます。

年越しの息抜きで去年の出来事を振り返ってみると、旅行会社での仕事のお陰で新しい体験、日本の発見などがたくさんあったと気づきます、ね。写真通りの通常のデスクワーク以外にも仕事で行った、広島・宮島、伊勢・鳥羽、上越・苗場などのちょっとした国内旅行の中、特に印象に残った行き先を、新年ご挨拶バージョンのインフォメーションに目を通してくださる皆さんと分かち合いたいと思います。

とりわけ、去年の社員旅行で訪れた瀬戸内海の直島の観光は非常に印象的でした。自然そのものといった感じの島に、様々な建築家やアーティストの個性に溢れたカルチャーゾーン、それらの調和したバランス。フェリーで海を渡り、まるで別世界に入ったような感じがするベネッセハウス、家プロジェクト、そして旅行者をもっとも感動させてくれる地中美術館、これらにより作り上げられた現代アートの雰囲気。これこそ宝島に行ってきたって言ったって過言ではありません。またその翌日に訪れた鳴門の大塚国際美術館。陶板の先端技術を活かして世界中の名作が国内で観賞できる所をつくるなんていかにも日本らしい発想だと思いながら、展示作品を観れば観るほど、子供の頃にエルミタージュ美術館などで初めて出会ったもの、画集の複製を見てから心に残ったものと再会したかのような傑作、その圧倒的な美のパ



ワーに感動しながら同時に懐かしくもありました。こんなに近くにあったの、と、まるで「灯台元暗し」という感じでした。

この旅行もまさしくそうですが、今度家族にも必ず見せてあげたいという決心が残ることこそ、面白い旅ができた証です。皆さんにとっても、この旅行の感想がご参考になりましたらによりです。行き先は人それぞれですが、とにかく今年も旅行に行きましょう！

大阪 ズビャーギン・フョードル

エンターテインメントのページをよろしくお願いします！

あけましておめでとうございます！

大学で演劇(主にロシア・バレエですが)を専攻した後、現在はサンクト・ペテルブルク国立大学哲学部の修士課程に聴講生として留学中の加藤です。こんなマイナーな留学スタイルを取ったがために、ロシアに来てもうすぐ2ヶ月経つのにまだ大学の手続きが完了していません。健康診断書を作成するのに4つの病院へ行かなければならなかったり(3回も採血しました…)、私の留学を担当している部署が突然閉鎖になったりして、腹立たしく思うこともあります。私自身も相当大学側を振り回しているの、お互いさまなのかもしれません。

JIC東京で2年半、今はロシアのエンターテインメントのホ

ームページの更新というかたちで働かせて頂いています。ロシアというとバレエ、というくらいロシア・バレエは日本でも親しまれていますが、

現在、サンクトペテルブルグにいます。



ロシアはそれだけではなく！他にもサーカス、クラシック・コンサートなどなど、色々なジャンルの公演が毎日のように行われています。個人的にはフォークロア・ショーがおすすめです。こんな風に、バレエだけでなく色々なジャンルを詳しく紹介していきたいと思い、今は色々な劇場に足を運んで情報・写真をかき集める日々です。劇場通いは自分の趣味でもあるので、とっても楽しいです。2008年3月に帰国予定なので、大学の冬休みを使って一気にリニューアルしたい、というのが目先の新年の抱負です！宣伝になりますが、バレエはちょっと気が進まないという方でもきっと興味が惹かれるジャンルがあると思いますので、ロシアへの旅行を検討なさる際は是非ホームページを覗いてみて下さい。

東京 加藤 裕理(かとう ゆり)

JICフェア報告

OSAKA



去る2007年12月16日、大阪・天満橋のドーンセンターにて毎年恒例の年末イベント「JIC フェア」が開催されました。このイベントの認知度は年々上がっており、関西のロシア人の皆さんには特に、毎年2回のJIC フェアを楽しみにしていただいています。どなたかにフェアの日付を伝え、ロシア人連絡網(!?)によって、関西中に情報が行き渡っているようです。新しく参加して下さる方もいらっしやれば、毎回欠かさず参加して下さる方もおられます。子連れでのご参加も多く、子供達が年々大きくなった姿で来られるので、いやおうなしに月日の流れを感じます。もちろんロシア好きな日本人もたくさん参加してくださいましたよ！お友達作りやロシア語の腕試しにもぴったりのJIC フェアです。ぜひ皆さん、来て下さいね。次回は5月か6月

に開催する予定です。お楽しみに！

留学や旅行の相談コーナーもあります。平日にお時間の取れない方にもおすすめです！



JICのロシア語留学



JICでは多彩なロシア語研修のプログラムをご案内しています。「長期留学をしたい」「学んだロシア語を現地で使ってみよう」「ロシア生活を体験してみよう」など目的は様々。JIC留学スタッフが皆さんのご希望に合った留学スタイルを一緒に考えます！どうぞお気軽にご相談ください。

◇1週間からのプチ留学

モスクワ、サンクトペテルブルグでホームステイしながら自宅でロシア語レッスン。1週間から可能です。

◇いつでもいける多彩なロシア語研修

大学での本格的研修、語学学校でのインターナショナルなグループレッスン、ホームステイ+個人レッスン…。期間もご希望に合わせて調整可能です。

◇ロシア生活体験

ウラジオストクでは、ホームステイでロシアの生活を体験できるコースをご用意。ロシア語レッスンはありません。

◇10ヶ月長期留学

本格的にロシア語に取り組む方へ。現在2008年4月生の募集が締切り間近(1月31日)です！！

ロシア語で交渉できますか?

『ビジネスロシア語 実践会話・応用編』

さとう好明 (東洋書店)



本書は、著者さとう氏の前著書「ビジネスロシア語」に続く応用編で、ロシア人とのロシア語での交渉における会話力を鍛える参考書です。刊行なさった著者のことばを要約しながら、練習法を補ってその狙いについて要点をお伝えしたいと思います。

本書の目的は、「はじめに」で著者がわかりやすく述べています。それは、著者が 30 年以上ロシア人とのビジネスに携わってきた経験にもとづいて得た豊富な例をあげて、ビジネスロシア語を学びたいと考えている人に、効率よくマスターできる方法を明らかにすることです。

参考書の構成は、本文 178 ページのうち、I (9~48 ページ) ビジネス会話表現法と、II (49~169 ページ) ビジネス会話応用編とに分かれ、巻末にロシア語および日本語の索引を付けてあります。付録の CD には、上記 I の表現とくきまり文句>、II の会話テキストとくきまり文句>の例文が、男女二人のロシア人スピーカーによって録音されています。学習者には聞き取りやすい読み方にしています。録音時間は、約 90 分です。

この参考書は、ビジネスロシア語の初級を終え、さらに会話力をつけようと考えている中級者以上の人のために書かれたものです。また通訳になろうと考えている人にも役立つものです。通訳の前提は、ロシア人の言っていることを聞き



取れて、自分の考えをロシア人に伝えられるということにあります。そこから通訳の訓練が始まりますから、本書は通訳の前の段階を練習するための参考書でもあります。

ロシア人の話を理解し、ビジネスで自分の言いたいことを正確にロシア人に伝えるには、本書で紹介されているロシア語の表現を理解するだけでは足りません。ロシア人とロシア語で交渉するには論理性が優先されることから、先ず例文やくきまり文句>を暗記することが必要です。付録の CD をくり返し聴きながら、おうむ返しに反復して下さい。そして落ち着いて読めるようになれば、テキストを見ないで録音を聴きながら、声を出して反復する練習も交互に取り入れましょう。

また筆者は一般的なロシア語の特徴についても触れています。

Мы не можем удовлетворить Вашу просьбу.

Разрешите выразить Вам наше сожаление.

Боюсь, что Вы ошибаетесь.

この例文中の下線部分の意味はおわかりですか。説明は、

「はじめに」の 2 ページ目に出ています。

さらに、ビジネスでの資料は、ふつう英語で作成されますので、ビジネス英語の読み書きが欠かせない、という著者のアドバイスも忘れないでおきましょう。

I ビジネス会話表現法

ビジネスでは、交渉相手の話を理解しながら、自分が言うことは「会話の中で和文露訳」をして伝えることになります。この難題を乗り越えるには、構文を含め、ある程度のロシア語の表現法が常に口から出てくるようにしておくのが近道です。備えあれば憂えなし、です。



「会話表現法」では、交渉の具体的な話し合いに入る前にマスターすべき主要な構文が解説され、さらにビジネスでよく使われるロシア語動詞の使い方の例が示されています。日本語の「…である」の表現に、ロシア語ではつぎのような動詞が使われます。たとえば、

Что представляет собой что, Чем является что,

Что составляет что, Что равно чему,

На долю чего находится что, Под чем понимают что,

Что состоит в чём, ...

その他、<決まり文句>には、会ったときの挨拶、会話の切り出し、感謝、お詫び、意義、別れるときの挨拶など、会話に必要な表現をまとめてあります。これらの表現は、頻繁に使われる実践のための武器として役立ちます。

II ビジネス会話応用編

50~51 ページには、ロシア人と交渉を進めるためのマナー、「論理で負けない」ための対策がわかりやすくまとめられています。そのあと、会社の概要、製品紹介など商談に入る前置きのこと、そして商談では、支払条件、デリバリー条件、ターンキー契約、クレーム、スケジュールの打ち合わせ、ライセンス供与、海外派遣と研修、入札、エージェン契約が実戦に即した参考例で紹介されています。



CD を聞きながら、是非ロシア人とロシア語で交渉してみませんか。

<訂正箇所> 16 ページ(下 10 行目)

「…値のうち最小のもの…」 → <最大>では?

報告!

神戸市外国語大学 語劇祭

ロシア語劇団 熊谷 真宏

神戸市外国語大学が誇る伝統的行事、「語劇祭」。英米語劇団、Ⅱ部英米語劇団、中国語劇団、イスパニア語劇団、ロシア語劇団の5劇団が、それぞれの言語を用いた2時間の劇を行うというもので、毎年多くの観客が訪れます。今年で58回目を迎えるこの一大イベントが、12月15日(土)、16日(日)の2日間に渡って神戸アートビレッジセンターで行われました。

私たちロシア語劇団の2007年度の演目は、エヴゲーニー・シヴァルツ原作の『ТЕНЬ 影〜三幕のお伽噺〜』です。とある南の国にやって来た一人の学者が、この国について調べていくうちに実はお伽の国であるという事実を知ります。



本番前のメイク中。

だんだん緊張してきました・・・

ある日突然、学者の目の前に謎の男が現れます。なんとその男は学者の影だったのです。影は今まで自分が学者の影に甘んじてきた復讐を企てていました。巧みな話術で学者に王女との結婚をあきらめさせる影。善人であるばかりに、まんまと影の罠にはまってしまう学者。気が付いた頃には王女の心は影に奪われ、影が王となっていたのです。影自身の影になるよう命じられた学者は最後まで一人戦い続け、ついに首をはねられてしまいます。全てが影の思い通りになったと思われたのですが…。なんと学者の首がはねられた瞬間、同時に影の首も消えてしまったのです！パニックに陥る宮廷の人々。影を生き返らせるため、やむを得ず善人にしか効かない命の水を学者に飲ませます。そして学者が蘇ると同時に影の首も元に戻るのですが、学者の影であることがバレってしまった影は王女から追放されてしまいます。そして学者に再び平和な日々が訪れるのでした。

今回の劇を完成させるに当たって最も悩んだのは、クライマックスの場面で「いかにして影の首が実際に消えたように見せるか」ということです。上着で頭を隠したり、仮面を落とすことで首が落ちたように見立てるなどの案が生まれました

来年もぜひお越しください!!



が、どれも納得のいくものではありませんでした。あきらめムードが漂う中でこの超難題をクリアできたのは、演出が考え出したある斬新なトリックのおかげでした。それは「椅子の背板の代わりに布を張り、切れ目を入れることで首を後ろに倒したときに首が消えたように見える」というものです。一見単純そうに思えますが、これを形にするのは非常に苦労しました。製作に2週間を費やしたこの椅子は、見事に期待に応えてくれました。赤い照明の効果が加わることで、背筋が凍るほどのリアルさを生み出すことができたのです。これは全員が最後まで妥協することなく、必死に知恵を絞りあって勝ち取った結果だと思います。

振り返ってみれば、今年は「結果オーライ」の連続でした。当初予定していた台本はアントン・チェーホフの『かもめ』だったのですが、最終決定する直前に『影』の台本に変更したことにより、過去に例を見ないほど「個性的な」劇が完成しました。キャスティングに関しては、ヒロイン役の子が途中で抜けてしまって埋め合わせをするのに非常に苦労したのですが、役を入れ替えた子たちが見事なはまり役でした。そのほか演出から始まって小道具やメイクなどに至るまで、全ての選択がうまくいったように思えます。

メンバーに関しても非常に恵まれていました。劇団員21人中11人が一年生ということで未経験者が多かったのですが、それぞれの個性をうまく役の中に取り入れて演技できていました。また、マルチな才能を持つ子がいたおかげで、衣装や小道具、デザインなどの面で大いに助けられました。そして何よりも大きかったのは、人間関係でのトラブルが全くなかったことです。1年生同士でもそうですが、先輩と後輩の仲が非常に良かったことがチームにとって大きなプラスとなりました。

本番では2日目の最終公演ということもあって例年を上回る数の観客が集まり、また劇自体も本当に素晴らしいもののできたので、大成功のうちに幕を閉じることができたと言えます。来年は今年よりも一層楽しめる劇を作りたいと思っていますので、少しでも興味を持たれた方は来年以降、語劇祭に足を運んで頂けると幸いです。

1~2月の予定

1月12日(土) JIC 東京・大阪 留学相談会
 1月26日(土) JIC 東京・大阪 留学相談会
 両日とも 東京11:00~16:00要予約
 大阪13:00~16:00要予約
 1月31日(木) 第34期ロシア語長期留学 申込締切

最新情報は JIC のホームページに
 随時掲載いたします。ご確認ください!



東京オフィス移転のお知らせ

国際親善交流センター (JIC) および JIC 旅行センター東京
 オフィスは下記へ移転しました。

◆新住所◆

〒160-0004 東京都新宿区四谷 2-14-8 YPC ビル7階
 (電話・ファックス番号に変更はありません)
 よろしくお願ひいたします。

JICロシア語講座 開講中

東京クラス 四谷(JIC 東京オフィス)

*入門Ⅰ 火曜日19:00~20:30

*入門Ⅱ 月曜日18:30~20:00

*初級 月曜日19:00~20:30

*中級 水曜日19:00~20:30

*上級講読 木曜日18:50~20:20

*上級会話 金曜日18:30~20:00

*土曜講座 土曜日12:00~13:30

受講料
 54,000円
 (全18回)



大阪クラス 天満橋(JIC 大阪オフィス)

*入門 火曜日19:00~20:30

*初級 木曜日19:00~20:30

*中級 金曜日19:00~20:30

*上級 月曜日19:00~20:30

受講料
 35,000円
 (全15回)

ロシア語始めてみませんか?ご希望の方は、見学もして
 いただけますよ。詳しくはお問合せください。

TEL: 東京 03-3355-7294 大阪 06-6944-2315

◆◆編集後記◆◆

早いもので、もう 2008 年に突入してしまいました。皆さんの 2007 年はいかがでしたか? 2008 年の目標はもう決められましたか? 年末は何かと忙しいので、きちんと振り返る時間がなかった、という方も多いことでしょう。でも、まだ年が明けたばかりですから、いまのうちに今年の抱負を考えても遅くないと思います。

今年の年末年始は 9~10 日間ほどお休みだった方も多かったようですね。JIC も 9 日間お休みを頂きました。そんなにお休みがあるとどこか遠くへ行きたくなるのですが、結局“どこか遠く”は叶わず、近所でちょこまかと過ごしてしまいました。掃除されていない部屋と真っ白な年賀状が年末ギリギリまでほったらかしになっていましたから…。最近遠くに飛んだのは、9 月のロシア出張だったのですが、仕事以外だと 5 月にまでさかのぼります。どおりで最近、「遠くに行きたいなあ」「海外旅行に飢えているなあ」と感じるわけです(…と、そんなことを言うと、子持ちで頑張っているママさんスタッフに叱られそうですが…)。

どこか行きたいなあ、でもしばらくは無理そう、国内旅行なら…ということで、今年はとりあえずアートの島・直島に行きたいと思います。なぜ直島?? 行けるはずだったのに行けなかった場所——要するに、リベンジです!

(JIC 大阪 小西章子)

JIC のホームページを
 チェックしよう!

<http://www.jic-web.co.jp>



◆ロシア留学旅行相談(東京・大阪各7月)◆

ロシア留学・旅行のお問合せ・ご相談に
 応じます。お気軽にお越しください。

東京事務所 平日 10-18時 土曜 10-16時

大阪事務所 平日 10-18時 土曜(6-9月のみ) 10-16時

JIC は頑張る人を応援します!

旧ソ連関係のイベント案内掲載をご希望の方は JIC までご相談ください。イベント時期の約 2 ヶ月前に情報をお送りください。JIC インフォメーションの発行は、1・2・4・6・9・11月の6回となります。

掲載内容が JIC の活動に合わない場合はお断りする場合もありますのでご了承ください。

~Jクラブ(JIC友の会)のご案内~

JIC インフォメーションを年6回、また JIC のイベント案内をもれなくお届けします。
 ご希望の方には入会案内をお送りいたしますので、ご連絡ください。
 国際親善交流センター